

12

やま なか はち まん ぐう  
**山中八幡宮**

所在地：岡崎市舞木町字宮下

平成16年2月27日指定

—常緑広葉樹林の社叢とヒメハルゼミの生息地—

面積 (ha)

特別地区	普通地区	合計
1.55	3.95	5.50

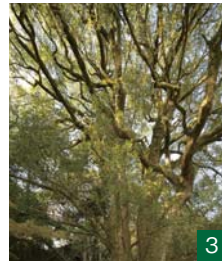
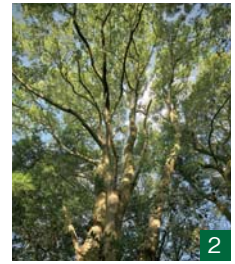
山中八幡宮は岡崎市南東部の舞木町に位置しており、三河一向一揆で追われた徳川家康が、この地の洞窟に隠れて難を逃れたと言われていました。

山中八幡宮の社叢は、ツブラジイを主とする常緑広葉樹が覆う標高106mほどの小高い丘になっています。この社叢の林床には愛知県の準絶滅危惧種となっているルリミノキ、オオフユイチゴなど暖地性の植物が生育しています。山門前のクスノキの巨木は岡崎市の天然記念物に指定されています。

また、「ヒメハルゼミの生息地」として市の天然記念物に指定されているほか、昆虫では愛知県の準絶滅危惧種のオオゴキブリが生息しています。

ツブラジイの常緑広葉樹林の社叢は郷土景観を代表するものと言え、伐採後、天然更新により再生したもので、残された天然林としては県内では比較的規模の大きいものです。

ヒメハルゼミは生きた化石といわれ、この地域が暖帯照葉樹林で覆われていた頃から生き残っているもので、現在では当時の林相が残されている地域のみで生息する昆虫です。またオオゴキブリは分布が常緑広葉樹林に限られており、その指標種として扱われています。



1：全景 2：ツブラジイ 3：クスの巨木 4：山中八幡宮

13

かい しょ もり  
**海上の森**

所在地：瀬戸市海上町、広久手町、屋戸町及び吉野町の各一部

平成18年3月24日指定

—東海丘陵要素植物群がみられる里山林—

面積 (ha)

特別地区	普通地区	合計
48.60	79.25	127.85

海上の森は瀬戸市南東部の丘陵地に位置し、その一部が平成17年に開催された、「自然の叡智」をテーマとする愛知万博の瀬戸会場となりました。

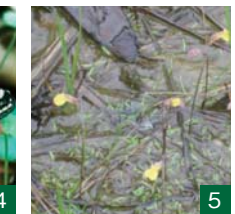
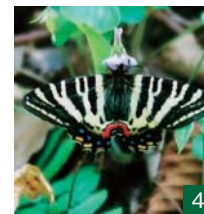
この地域は伝統的な地場産業である窯業のための採薪・採土による荒廃と植林による復旧を繰り返してきました。現在は、人工林や二次林からなる里山が形成され、豊かな自然環境を有しています。

この海上の森の西側の一部が自然環境保全地域となっています。

この地域は地下水の湧出による貧栄養湿地が多く見られ、シデコブシなどの東海丘陵要素植物群と呼ばれる植物を始めとする希少な動植物が見られます。これらの湿地は、規模は小さいものの谷に沿って多数分布し、都市近郊での連続的な分布状況は県内でも特異なものといえます。

北部の篠田川流域のサクラバハハンノキのまとまりのある大きな分布は、県内でも特異的な存在です。屋戸川・寺山川流域にはトウカイコモウセンゴケ・ミミカキグサなど、貧栄養湿地の特徴的な植生が見られます。

また、林内にはギフチョウが、河川や湿地には魚類のホトケドジョウやハッチョウトンボなどの昆虫類が生息しています。

1：貧栄養湿地 2：ハッチョウトンボ 3：シデコブシ  
4：ギフチョウ 5：ミミカキグサ